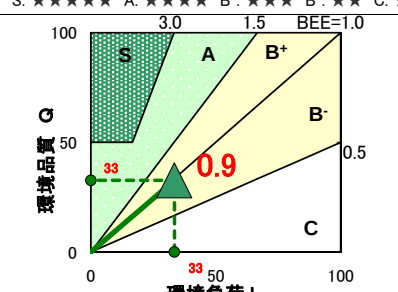
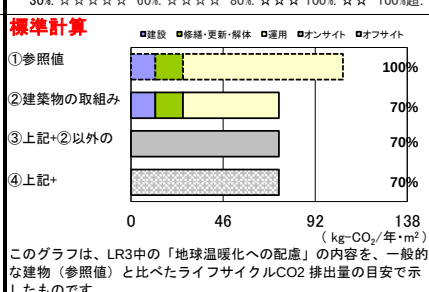
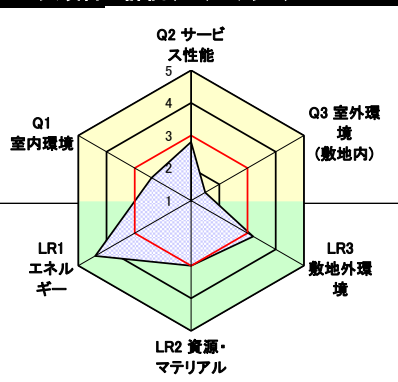
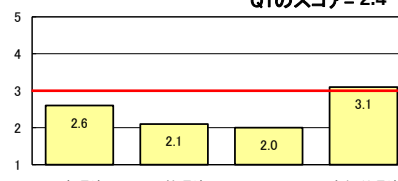
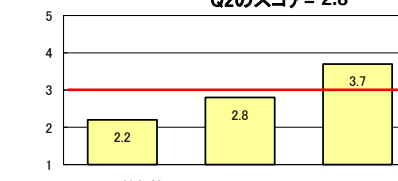
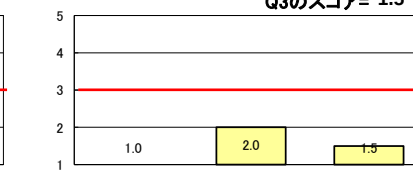
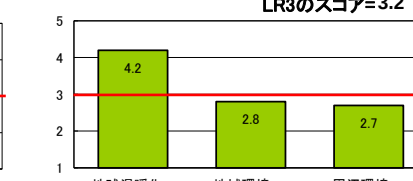


評価結果

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	広島大学PSIGMP教育研究センター整備工事	階数	地上4F	
建設地	広島県広島市南区霞一丁目2番1の一部	構造	S造	
用途地域	第一種住居地域・近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	35 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所、学校	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2026年9月 予定	評価の実施日	2025年4月18日	
敷地面積	142,646 m ²	作成者	小澤 啓一	
建築面積	641 m ²	確認日	2025年4月23日	
延床面積	2,564 m ²	確認者	越智 光夫	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.9 ★ ★ ★ ★ ★ A: ★ ★ ★ ★ B: ★ ★ ★ B+: ★ ★ C: ★ S: ★ ★ ★ ★ ★ A: ★ ★ ★ ★ B: ★ ★ ★ B+: ★ ★ C: ★ 	30% ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ 60% ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ 80% ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ 100% ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ 100%超 ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ 標準計算 ① 参照値 ② 建築物の取組み ③ 上記+②以外の ④ 上記+  このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.4 	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.8 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 1.5 
LR 環境負荷低減性		
LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.4 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.0 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.2 

3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア= 3.4		
「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア= 3.9	スコア= 1.6	スコア= 3.0
設計の計画上位段に配慮した事項 BPI _{lm} =0.52。// BEI _{lm} =0.60。// LGS使用している。// ライフサイクルCO ₂ 排出率70%	設計の計画上位段に配慮した事項 /	設計の計画上位段に配慮した事項 /

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される